

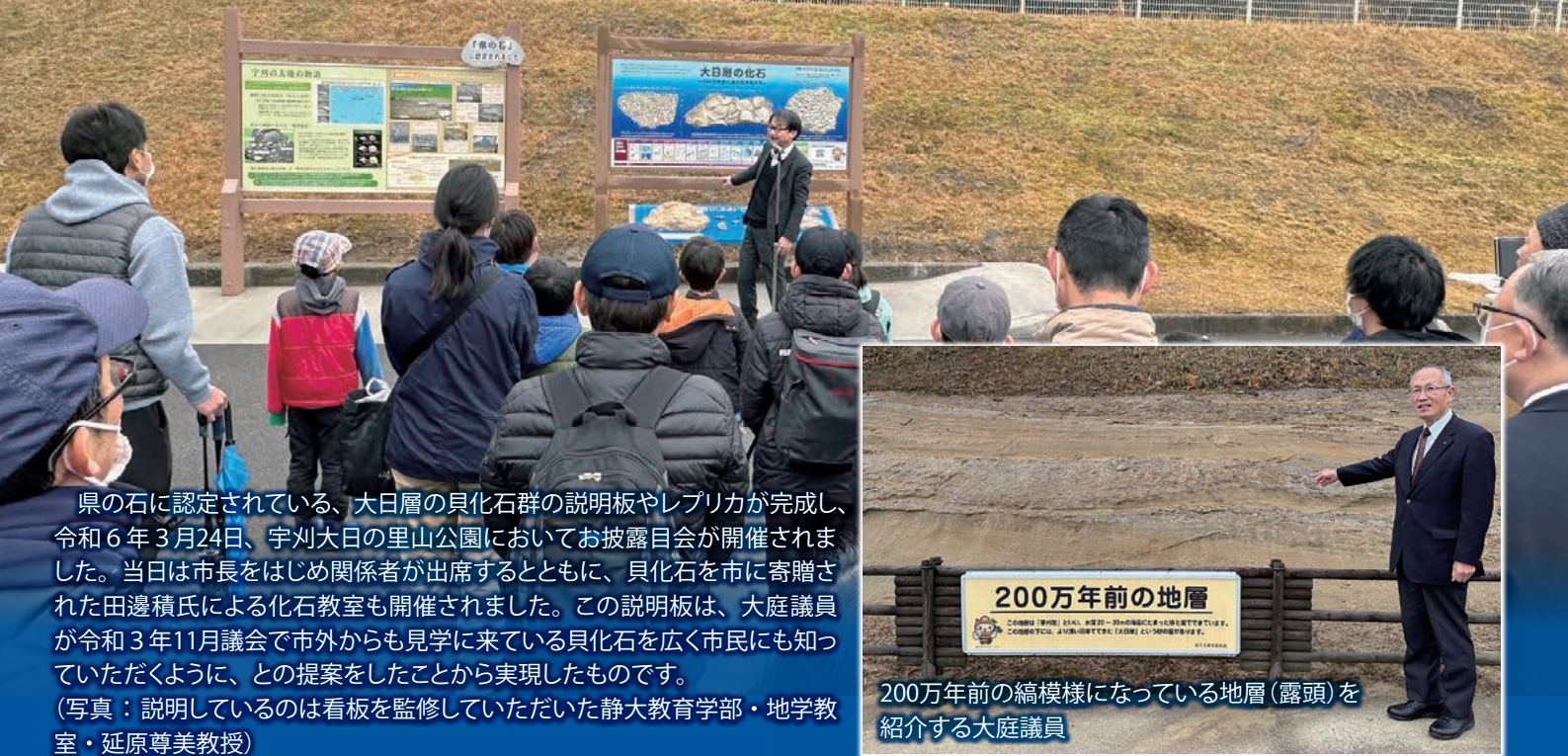
大庭みちよし 後援会

Ohba Michiyoshi kouenkai News ニュース

No.189

2024
春号

宇州大日の里山公園にて



県の石に認定されている、大日層の貝化石群の説明板やレプリカが完成し、令和6年3月24日、宇州大日の里山公園においてお披露目会が開催されました。当日は市長をはじめ関係者が出席するとともに、貝化石を市に寄贈された田邊積氏による化石教室も開催されました。この説明板は、大庭議員が令和3年11月議会で市外からも見学に来ている貝化石を広く市民にも知っていただくように、との提案をしたことから実現したものです。
(写真：説明しているのは看板を監修していただいた静大教育学部・地学教室・延原尊美教授)

200万年前の縞模様になっている地層（露頭）を紹介する大庭議員

「令和6年度」スタート

浜名湖花博など各地の花だよりが届けられる心地よい季節になってまいりました。いまだ感染症の心配はありますが、そうした中であっても、最近ではコロナ前の日常が少しずつ戻ってきているのではないかと思います。

後援会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より大庭後援会に対しましては格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

ところで、今年は正月元旦に能登半島地震の発災という思いもよらぬ幕開けとなりました。お亡くなりになられた皆様のご冥福と、今なお不自由な避難生活を余儀なくされている関係皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

東南海地震が心配されている私達の地域にとりましては決して他人事ではありません。改めて自助、共助、公助必要性、とりわけ各人の物心両面での備えの必要性を痛感したところです。

さて、こうした中、令和6年度がスタートいたしました。大場市長からは、「チャレンジ&スマイル」のキャッチコピーのもと、令和6年度は「成果の見える化」と「建設的な対話」の2つを軸として「チャレンジ&スマイルの好循環」を促進するとの施政方針が述べられました。

新市長が誕生して3度目の予算編成となりましたが、各種事業に新たな取り組みが見られるなど、今後の行政運営に大いに期待をしたいと思います。

私もそうした各種の事業や施策に賛意を表しつつも、議員の立場から、一般質問を通して様々な提案や指摘をさせていただきました。

とくに能登半島地震における断水被害状況を踏まえ、本市の水道管の耐震化策について提案をするとともに、また、近年では、公立幼稚園の入園児が減少し、20名以下の幼稚園が3園に増えるなど、子育て問題も顕在化しています。こうした課題に対する提案や、さらには、日本一を標榜する本市が、各種ランキングを生かしたまちづくりをするように、様々な提案もさせていただいたところです。

令和6年度は、いよいよ私に取りまして、議員任期の最終年となります。皆様からいただいた宿題のやり残しのないように、総仕上げのつもりで頑張ります。

どうぞ、引き続き、倍旧のご指導、ご支援の程 宜しくお願ひ申し上げますとともに、時節柄、お身体ご自愛を心よりお祈り申し上げます。



袋井市議会議員
大庭通嘉

令和6年袋井市 2月定例議会報告

令和6年度予算 & 令和5年度補正予算など 33議案が示される

□ 2月定例会開会

令和6年度2月定例会は、さる2月19日に開会し、右円グラフの一般会計をはじめ33議案が市長より提出され、それぞれ審議の結果可決承認され、3月21日に32日間の会期を閉じました。

□ 上程議案一覧

- 令和5年度袋井市一般会計補正予算(第9号)について
- 令和6年度袋井市一般会計予算について
- 袋井市部設置条例の一部改正について
- 緊急防災工事計画の策定について

ほか市長提出議案29件 全議案可決承認

□ 市政運営の基本方針

「チャレンジ&スマイルの好循環に向けて」

令和6年度は「成果の見える化」と「建設的な対話」の2つを軸として「チャレンジ&スマイルの好循環」を促進します。

価値観の多様化する社会環境の中、相互理解を深化させるための建設的な対話から生まれたアイデアを原動力として様々な取組を加速させていく。

□ 令和6年度予算の概要(歳入)

令和6年度の一般会計は右表のように、398億3000万円で、前年比2.6%の増、また、特別会計、企業会計を合わせた総額は643億8040万円で2.6%増となりました。歳入のうち市税は前年比3.0%減の150億7781万円(37.9%)の計上となりました。また、地方交付税は前年より3.2%増の35億5000万円、市債は10.7%減額の34億2040万円となりました。これにより実質公債費比率は5%程度(例:家族全員の1年間の借金返済額が給与収入に占める割合)と減少傾向に、また地方債の現在高(借金)は昨年より9.5億円増加し、334億1000万円となります。なお、経常収支比率が91%程度とコロナで国からの交付が増えた令和3年の85.6%から増加し、コロナ前の水準に戻り財政の硬直化傾向となっています。

□ 主な事業の概要(歳出)

事業の主なものとして、①治水対策は昨年同様行われます。柳原雨水ポンプ場の整備や松橋川、油山川、中沢川などを整備します。②袋井駅南エリアの整備として防災・遊水池機能を持った公園など都市空間の実現に向けた事業が行われます。③浅羽同笠海岸に遊歩道や休憩・交流施設兼トイレなどが整備されます。④まちじゅう図書館の導入はICタグによる蔵書管理の導入で電子書籍の貸出サービスや学校と市図書館が共通システムで運用していきます。⑤道路公園照明LED化はコスト削減と脱炭素化を目的に10年間一括包括民間委託で1060灯をLED化していきます。⑥保育体制強化事業として民間保育所支援員配置にかかる費用の補助をします。⑦ワンストップ窓口導入は書かない、行かないワンストップ窓口をめざした窓口改革を進めます。⑧放課後児童クラブは高南小、山名小に新たに2クラブを開設します。R5年1,546人→R6年1,626人になります。⑨工業用地開発は土橋工業用地の開発に伴う住環境整備事業が行われます。⑩予防接種事業は、带状疱疹ワクチン接種費用と、おたふくかぜワクチンの接種費用の一部助成を行います。⑪バイオマス利活用は、下水道汚泥を活用してバイオマス発電の事業化の可能性を調査します。⑫クラウンメロンの新規就農者の育成の確保をしていきます。⑬ビジネスプランコンテストは若者のチャレンジを支援します。⑭多文化共生として、ニーズ調査など外国人市民との交流などを進めます。ほか

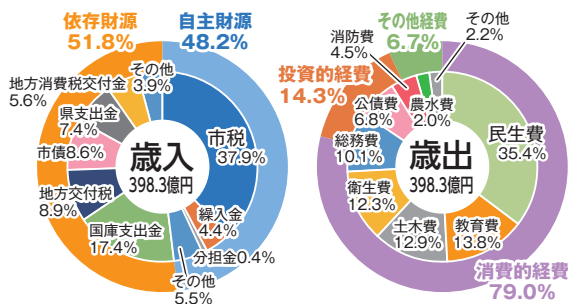
□ 袋井駅南まちづくり(袋井セントラルパーク構想)

袋井のJR駅南にノブレスパルクがR3オープンしました。R4セントラルパーク構想を策定。今年度は都市空間の創出のため治水対策を兼ねた遊水池公園などの整備に向けて、対象土地の購入や、詳細設計、測量調査等が実施されます。



□ 袋井市令和6年度一般会計予算

<単位:万円 対前年増減率 %>



<単位:万円 対前年増減率 %>

一般会計	金額	増減率
一般会計	3,983,000	2.6
特別会計		
国民健康保険	821,700	2.5
後期高齢者医療	116,200	24.8
介護保険	632,600	4.0
駐車場	4,640	0.2
墓地	4,400	▲25.4
小計	1,579,540	4.4
企業会計		
水道	280,500	2.5
下水道	398,000	▲0.9
病院	197,000	▲2.7
小計	875,500	▲0.3
総計	6,438,040	2.6

□ 袋井市令和6年度主な事業一覧

<単位:万円>

①治水対策事業加速化推進	53,407
②袋井駅南エリアの整備	44,000
③海のにぎわい創出プロジェクト推進	23,579
④まちじゅう図書館の導入	20,000
⑤道路公園照明LED化	18,400
⑥保育体制強化事業	3,940
⑦ワンストップ窓口の導入	2,600
⑧放課後児童クラブ環境整備	2,400
⑨工業用地開発推進事業(土橋)	2,000
⑩予防接種事業(带状疱疹など)	1,263
⑪バイオマスの利活用	880
⑫クラウンメロン継承支援	330
⑬袋井ビジネスプランコンテスト	300
⑭多文化共生推進事業(ニーズ調査等)	150
⑮袋井スタートアップツアーの誘致	100

□ 袋井市海のにぎわい創出プロジェクト

浅羽海岸の同笠エリアを、1. マリンアクティブ、2. にぎわい交流、3. スポーツアクティブの3つのゾーンに分けて整備をします。今年度はトイレの整備や遊歩道、車両進入路の整備やイベント広場の設計などを予定しています。



大庭の一般質問



一般質問の
議事録



一般質問の
ビデオ

水道管の耐震化を

能登半島地震では未だに断水が続いている。袋井市も事前の備えをしておくべきだ。

問 袋井市の水道管の耐震化(耐震適合率)の状況は国や県と比べてどの程度か。

答 本市の水道管の基幹管路(150mm以上)の耐震適合率は、令和3年度末で48.0%、全国平均は41.2%、県は43.6%となっている。

また、令和4年度の耐震適合率は49.2%で平成25年度に策定した老朽管更新(耐震化)計画では50.5%としており、目標に対して若干計画を下回っている。

問 袋井市は地盤が弱い。もっと前倒しで水道管の耐震化を進めるべきではないか。

答 現在1年間の事業費6億円の半分3億円を耐震化に向けている。人件費や資材の物価高騰で計画通りの耐震化を進めることが難しい。耐震化を進めたいが、水道会計は独立採算のため一般会計からの繰入は限られている。

したがって、耐震化を前倒しにするには水道料金の値上げも視野に入れていくなどの議論も必要になる。



地震で破壊された水道管と新しい水道管

問 袋井市内に敷設されている水道管のうち基幹管路(150mm以上)が202.5km、配水支管(100mm・75mm)が347.4km、それ以下の管(30mm・5mm)が188.2kmで、総延長が738.1kmである。このうち耐震化されているのは基幹管路の202.5kmの49.2%、配水支管347.4kmのうち12.6%、全体の約25%しか耐震化出来ていない。基幹管路は令和15年度耐震化目標を66%しているが、配水支管も耐震化計画をもって進めるべきではないか。

答 100mm・75mmの排水支管は基幹管路のように何年度までに100%という目標を立てて耐震化していないのが現状だ。

問 袋井市の水道は磐田市寺谷にある県の遠州広域水道からの41,200 t/日と、市内の井戸水10,080 t/日で水道を賅っている。もし地震で磐田市から水道が来なくなったときでも、井戸水だけで病院や避難所に給水が出来るのか。

答 市内にある8箇所の水源(井戸)や11箇所の配水池と病院、避難所などへの水道管は耐震化をしている。大規模災害の断水の際には

水道の完全復旧までに応急給水などあらゆる手段で対応する。

問 災害時、水道復旧にかかる人員が確保出来るか。また、有事の組織体制は大丈夫か。

答 上下水道課など行政職員、復旧作業を実施する水道工事店の作業員などでは人員には限りがあり、当市のみでの対応では困難である。全国の水道事業者、水道工事業者、自衛隊などへ応急給水、資機材の調達、復旧作業の支援を躊躇なく要請していく。

子育て支援策について

少子化や、保育ニーズの変化で、幼稚園児が減少し保育の見直しの時期に来ている。

問 子育て支援策の前提となる子ども達の出生者の推計はしているか。

答 平成24年992人に対し、令和4年670人と10年間で32.5%の減少になっている。今後、0歳から5歳までの就学前の人口推計では令和4年度4,460人に対し、令和11年度4,144人と316人減少を見込んでいる。

問 各公立幼稚園の園児が減少している。令和6年度の受け入れ園児数の推計はどうか。

答 現在幼稚園と子ども園幼児部に在園園児数は1,006人。特に公立幼稚園は平成26年度には15園に1,671人いたが、令和5年度8園308人と大幅に減少している。

令和6年度の3歳児入園児予定数は袋井東8名、全体で34名、田原4名、全体で18名、浅羽西は4名で全体で23名、浅羽南が4名で、全体で20名、浅羽北は3名で全体で20名となる。



園児が減少している公立幼稚園

問 公立幼稚園の統廃合等、再編整備はどのように考えているか。

答 市教委としては、今後は、有識者や教育、保育関係者、地域の代表者等で構成する協議体を設け、こども園化や民営化、統廃合等について具体的な御意見を伺いながら、保護者や地域の皆様など関係する方々と議論を重ね、よりよい就学前教育・保育の実現に向け、取り組んでいく。

問 園児が減少している公立幼稚園の子ども園(幼稚園+保育園)化の考えはあるか。

答 保護者や地域の皆様の御意見等を踏まえ、こども園化するだけでなく、民営化や統廃合等の再編も含めて検討していく。

問 外国人子女や支援を必要とする園児が増えているが、支援体制をどうするか。

答 外国系園児は2月1日現在77人いる。市教委ではポルトガル語、中国語、ベトナム語の通訳を6人配置している。また、本年度から保育士にタブレット1台を整備するとともに、保育補助員を計52人配置し、子供たちの遊びや体験活動への補助をしている。

問 19人以下の小規模保育園が15園あるが、今後当該園の位置づけをどのように考えているか。

答 現在、利用定員250人のうち242人利用している。依然として保育ニーズの増加傾向が見られ、預け始める年齢が低年齢化している現状から、小規模保育事業所は今後も受皿として重要な役割を担う施設であると考えており、適切な保育が実践されるよう、引き続き支援をしていく。

問 袋井東や西の園舎は、築後52年になる。園舎の老朽化に対しどのように考えているか。

答 老朽化の状況や改修に係る経費などのほか、こども園化や民営化、統廃合などの再編も含め、総合的に検討していく。



老朽化が進む袋井西幼稚園

問 幼小中一貫教育で保・幼と小一との繋がりをどのように総括しているか。

答 多くの小学校からは、1年生の登校渋りや授業に参加できないなどの表れが減ったとの報告をいただいている。保護者アンケートでも、年度初めの3カ月までに子供が学校に慣れたとの回答が74%になるなど、一定の成果が上がっている。

袋井市のランキング

問 住みよいまちづくりに向けて各種の報道機関から様々なランキングが公表されている。市はこれらの指標をまちづくりに生かすべきではないか。(詳細は裏面参照)

答 昨今、民間事業者をはじめ、大学やメディア等が自治体をランキング化し、公表する事例が増加している。エビデンス(根拠)に基づいた市政運営を行っていくため評価指標の一つとして今後の政策判断の参考にしたい。

大庭議員が拾った 袋井市の各種ランキング

No.189
2024 春号

昨今、民間事業者や、大学、メディアなどから、自治体のランキングが発表されています。大庭議員は、2月定例会で、各種のランキング結果をもとに、市としての見解を求めました。ランキングによっては、袋井市にとって嬉しい評価もあれば、ブランド総合研究所(下表)のように、本当か?と疑いたくなるような厳しい評価もあります。

いずれにせよ、こうしたランキング結果に一喜一憂することなく、冷静に受け止め、エビデンス(根拠)を分析する中で改善できるものは改善し、まちづくりに生かしていくことも必要な事ではないでしょうか。皆さんはどのようにご覧になりますか。

住みよさ良さをランキング

県内	全国
1位 御殿場市	83位
2位 三島市	188位
3位 浜松市	211位
4位 掛川市	222位
5位 御前崎市	252位
6位 袋井市	282位
14位 磐田市	463位

<県及び全国順位の根拠>
全国815の市と特別区の下記20指標を分析しランキング(静岡県は全23市が対象)

●安心度 503位

- ①人口あたり病院・病床数
- ②老年人口あたり介護福祉
- ③女性あたり人口乳幼児数
- ④子ども医療費助成
- ⑤人口あたりの交通事故件数
- ⑥人口あたりの犯罪件数

●利便度 539位

- ⑦人口あたりの小売り販売額
- ⑧人口あたりの大店舗面積
- ⑨飲食料品小売り事業所数
- ⑩人口あたりの飲食店数

●快適度 171位

- ⑪転出入人口比率
- ⑫水道料金
- ⑬汚水処理人口普及率
- ⑭気候
- ⑮都市公園面積

●富裕度 217位

- ⑯財政力指数
- ⑰住宅地平均地価
- ⑱1住宅あたり延べ床面積
- ⑲納税義務者あたり所得
- ⑳人口あたり法人市民税

(出典)東洋経済誌都市データバック2023

AI(人工知能)が判定した

持続可能性があるまちランキング

県内	全国
1位 吉田町	63位
2位 袋井市	74位
3位 菊川市	80位
4位 長泉町	89位
8位 掛川市	166位
11位 磐田市	282位
21位 森町	484位

魅力度があるまちランキング

県内	全国
1位 長泉町	138位
2位 清水町	178位
3位 三島市	279位
4位 裾野市	303位
10位 袋井市	367位
11位 磐田市	393位
12位 掛川市	404位
28位 森町	973位

<順位の根拠>

県下35市町、全国1741市町を対象にして117種類の統計データから「持続可能性」があるかを地域住民が社会・経済運営に参画してもらっているか、などを指標にAIが判定

また、「魅力度」をつくる要素として、教育、福祉、女性活躍、コミュニティなどを選択し、AIが判定

(出典)中部圏社会経済研究所 AI(人工知能)が選んだランキング

魅力度ランキング

県内	全国
1位 熱海市	13位
2位 伊豆市	23位
3位 浜松市	44位
4位 静岡市	65位
5位 御殿場市	95位
6位 伊東市	101位
16位 掛川市	303位
18位 磐田市	434位
25位 袋井市	796位

<順位の根拠>

全国1000市区町村&47都道府県静岡県内23市+2町の計25市町、25位は最下位
調査方法、インターネット調査、20代~70代の消費者を男女別、年代別、地域別にほぼ均等に抽出、有効回答数、約3万人、地域ごとの回答者数は約560人。毎年7月、結果発表は毎年9月~10月頃。

上記の魅力度以外の項目における 袋井市のランキング

【県下25市町中】	順位
・住民参加のまち	4位
・環境に優しいまち	5位
・地域を代表する産業がある	2位
・歴史文化のまち	19位
・スポーツのまち	13位
・デザイン・センスの良いまち	16位
・教育・子育てのまち	10位
・新しいまち	2位
・変化があるまち	15位
・スポーツの参加・施設が楽しめる	18位
・居住地からアクセスが便利	10位
・食事が美味しい	25位

(出典)地域ブランド調査2023
ブランド総合研究所

街の幸福度 すみそでち ランキング 2023

県内	点
1位 駿東郡長泉町	71.3
2位 駿東郡清水町	67.0
3位 静岡市葵区	66.6
11位 森町	65.0
16位 磐田市	62.3
18位 袋井市	62.1
21位 焼津市	60.9
23位 島田市	60.7

掛川市のデータはなし

<順位の根拠>

県下50名以上の回答があった23市(区を含む)と町を対象、県内居住の20歳以上の21,101人による評価
大変満足:100点
満足:75点
どちらでもない:50点
不満:25点
大変不満:0点
の平均値から作成

(出典)大東建託賃貸未来研究所

議会改革度 2023 ランキング

袋井市	全国	1404市町
61位	2位	23市
自治体規模(市)	33位	681

<順位の根拠>

①情報共有(住民の情報共有は)
②住民参加(議会と住民との対話は)
③議会機能強化(ICTは活用してるか)などの3分野、52の設問によりランキング調査したもの

(出典)早稲田大学マニフェスト研究所

市議会を傍聴して

大庭議員の一般質問を傍聴しました。袋井市は「日本一健康文化都市」を都市宣言していますが、このキャッチフレーズの「健康文化都市」を市に提案したのは大庭議員だった、と質問で知りました。また、この提案を受けて、健康文化都市に「日本一」という冠をつけたのは市当局だったということも初めて知りました。

そんな日本一に向けてのランキングのやりとりで、市長から、市長の友人がエコパに来たことはあっても、エコパが袋井市にある事を知らずにいた、との例を挙げ、しっかり情報発信をし、袋井のブランド力を上げて頑張りたいとの答弁がされていていました。聞くとところによると、コロナ前エコパには年間100万人以上来ていたんですね。H



大庭のホームページ

皆様からのご意見お待ちしております。



■Eメール ohba@mxu.mesh.ne.jp 大庭みちよし 検索

発行所 大庭通嘉後援会
事務所 〒437-0055 袋井市土橋187
TEL 090-2138-9220
FAX 0538-42-1925